

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

29年 01月 14日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 霜 実男



下記のとおり報告します。

日 程 28年09月20日(火曜日)～ 月 日(曜日)

活動先 越前市内施設（うすずみ会館、服部川と水間川、月尾サブセンター、社会福祉センター及び今寿苑、南越清掃組合焼却炉建設予定地、コウノトリケージ周辺及びいこい館、吉野瀬川放水路、カラス捕獲檻）

活動目的 越前市内の公共施設及び箇所を視察することで、今後の市議会での論議を深め、適切な政策を活かすことを目的とする

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

視察行程	9:00	駅前パーキング出発
	9:15 9:35	うすずみ会館視察
	9:45 10:00	服部川と水間川の合流地点視察
	10:10 10:25	月尾サブセンター視察
	10:30 11:00	社会福祉センター及び今寿苑視察
	11:30 12:00	南越清掃組合焼却炉建設予定地

12:00 12:40 昼食

13:15 13:40 コウノトリケージ周辺及びいこい館

14:00 14:20 吉野瀬川放水路

14:30 14:45 カラス捕獲檻視察

15:10 視察終了

市民ネットワーク会派市内視察

1. 事業名 市内施設、河川視察
2. 目的 越前市内の公共施設及び箇所を視察することで、今後の市議会での議論を深め、適切な政策を活かすことを目的とする。
3. 日時 平成28年09月20日(火) 9:00～15:00
4. 視察施設
 - ・うすずみ会館(粟田部町栄)
 - ・服部川と水間川の合流地点(朽飯町)
 - ・月尾サブセンター(轟井町)
 - ・社会福祉センター及び今寿苑(杉尾町)
 - ・南越清掃組合焼却炉建設予定地(南越前町上野)
 - ・コウノトリケージ周辺及びいこい館(都辺町)
 - ・吉野瀬川放水路(家久町)
 - ・カラス捕獲檻視察(余田町)
5. 参加者 市民ネットワーク(6名)
佐々木 富基、三田村 輝士、小玉 俊一
吉田 啓三、吉村 美幸、霜 実男
6. 視察行程

9:00		駅北パーキング出発
9:15	9:35	うすずみ会館視察
9:45	10:00	服部川と水間川の合流地点を視察
10:00	10:25	月尾サブセンターを視察
10:30	11:00	社会福祉センター及び今寿苑を視察
11:30	12:00	南越清掃組合焼却炉建設予定地視察
12:00	12:40	昼食
13:15	13:40	コウノトリケージ周辺及びいこい館視察
14:00	14:20	吉野瀬川放水路家久地点視察
14:30	14:45	カラス捕獲檻視察(余田町)
15:10		視察終了

7. 視察内容

①うすずみ会館（栗田部町栄）

うすずみ会館々長の福田輝美氏より説明を受けた。

- ・市より年間 30 万円で、指定管理を受けている。その中から借地料を 15 万円支払う。
- ・9 月に入り地元移管のまたは民間譲渡の話聞いた。未だに住民には周知されていない状況だが、10 月には市に意向を報告しなくてはならない。
- ・地元としては、地元移管であればリニューアルして地元に残してほしい。

②服部川と水間川の合流地点（朽飯町）

服間地区自治振興会々長 飯田正徳氏より説明を受けた。

- ・福井豪雨や東部集中豪雨の時に越水し、現在河川改修の要望を行っている。
- ・合流地点の川幅が狭いところの越水の危険があるように感じた。

③月尾サブセンター（轟井町）

管理者の高橋氏より説明を受けた。

- ・市より年間 90 万で、指定管理を受けている。
- ・八っ杉権現太鼓の練習場になっているが、使用料は払っていないとのこと、使用料の規定を明確にするべきと思った。

④社会福祉センター及び今寿苑（杉尾町）

社会福祉センター及び今寿苑の施設内を巡回し、利用状況を視察した

⑤南越清掃組合焼却炉建設予定地（南越前町上野）

現地にて、南越清掃組合 三田村所長、田中課長から別紙資料に基づき説明を受けた。

- ・10 月 03 日開催の南越清掃組合議会において、焼却炉建設関係の債務負担に関する議案を提出する予定。
- ・敷地面積は、1.5ha で地権者は 4 名。
- ・今後 1 年かけて事業者を選定する。
- ・焼却炉の建設費は 123 億円を見込んでいる。運転を含め 24 年間の債務負担として 235 億円を見込む。
- ・市より年間 30 万円で、指定管理を受けている。その中から借地料が 15 万円を支払う。

⑥コウノトリケージ周辺及びいこい館（都辺町）

ケージの周辺を視察した。ケージの上に豊岡市で放鳥された2羽のコウノトリが作った巣があり、その付近ではコウノトリがエサを探して散策をしていた。

放鳥されたコウノトリが巣を作り、えさを取り住み着いていることは、これまでのケージ周辺での環境農業の取り組みの成果ではないか。

いこい館では、担当の日和氏より館内の説明を受け、飼育の現状の説明を受けた。

⑦吉野瀬川放水路（家久町）

当日は雨で、吉野瀬川が増水をしていて、川から放水路に越水している状況が確認できた。放水路が完成して3度目のこと。

⑧カラス捕獲檻視察（余田町）

市内には、2か所（余田町、2年目、池ノ上町、4年目）のカラス檻がある。今回は余田町のカラス檻を視察した。

4月から6月まで動かし、夏場の熱い時期は休止となっている。

檻は猟友会が管理し、今年は179羽を捕獲している。

今後、10月から12月まで動かす予定である。

今年度に3基目を川東に設置予定。

8. 所感

市議会ですべてこれから議論に上がる公共施設や河川を視察することが出来た。

地元の関係者の説明や思いを聞くことが出来た。

しっかりと実態を把握し、今後の議会論議に生かしていきたい。

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

29年01月14日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 霜 実男



下記のとおり報告します。

日 程 28年10月03日(月曜日)～10月05日(水曜日)

活動先 いわて国体（ソフトボール、フェンシング）

活動目的 来年に開催される福井国体むけての視察

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙）

研修 第一日目（ソフトボール競技）

① 会場入り口 ウェルカムアーチ 表は「いわて国体」への歓迎
アーチ、裏面は来年度の国体場所を表示してありました。

② 駐車場 車の駐車台数が限られていたので、周辺の駐車場への送迎
バスにて会場へピストン輸送をしている。

③ 会場 仮設スタンド、テントで対応されてきました。

当日は台風が来ており、大変強い風が吹いており、テントや
ホームランゾーンのフェンスが倒れ掛かっていた。

障害者用の観戦エリアも設けられていて、わかりやすく表示
されていた。

④ 喫煙所 会場には四か所の喫煙所が設けられていた。

⑤ 大会グッズ 岩手のマスコットキャラクターなどのキーホルダやタオルなどが販売されていた。料金も手ごろであり沢山のお客様が買い物をしていました。メーカー（アシックス、ミズノ）の販売もありました。

⑥ 応援グッズ 選手への応援用に無料でグッズが用意されてありました。

⑦ 運搬用のリヤカー 各チームごとに荷物を運ぶために貸し出しされていた。また、チームの弁当を配布するためにも利用されていた。表示看板も各ブースにわかりやすく、見えやすく設置されていた。

⑧ 協賛 沢山の企業がしており、入り口には大きなボードで社名が書かれていた。越前市でも多くの企業の協賛をして頂きたい。

⑨ おもてなし 地域の人たちが無料でジュースやトン汁を振舞っていた。

所感 ソフトボール会場は練習会場を含めて8面のスペースがあり、大変に広い会場である。東運動公園は半分のスペースであり、周辺のグラウンドを利用しなくてはいけない。送迎も含めて早めの準備を考えなければいけない。

いわて国体視察（10月5日）フェンシング競技

- ① ウェルカムアーチには震災の復興を掲げ、市民全員で取り組んでいる状況が見えた。この敷地は運動公園になって、体育館やサッカー場などの施設が集合されていた。
- ② 体育館1階がメインアリーナになっており、隣のサブアリーナが練習会場や選手の荷物置き場になっている。2階が観客席とエントランスがあり、エントランスには組み合わせ表が掲示してあった。
- ③ フェンシング競技を初めて観戦したが、一瞬で決まるので競技時間が早かった。
- ④ 地域の皆さんのボランティアが多く、町全体で盛り上げている様子がかがえた。どれだけ地域の人たちが協力していただけるかがカギである。
- ⑤ 主催者ユニフォームの色が何種類かがあり、ボランティアとアルバイトを色分けしていた。

所感 フェンシング競技は新体育館で行われますが、サブアリーナもありスペース的には問題がないように感じる。おもてなしブースは隣のソフトテニス会場になっているので共同で行う法がいい。

沢山の中学生、高校生、一般のボランティアの方いましたが、中にはアルバイトの人もいました。

越前市では4競技が開催されるが、市民の皆さんの協力がなければ成功しないと思うので、早い段階で市民の士気を高め、全体を盛り上

げなければいけいと感じた。





様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

平成29年1月14日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 霜 実男 印



下記のとおり報告します。

日 程 28年10月29日(土曜日)～ 月 日(曜日)

活動先 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 視察

活動目的 別紙のとおり

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

別紙のとおり

Horizontal dotted lines for reporting details.

F-TOP 視察

1. 事業名 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 視察
2. 目的 阪神・淡路大震災の経験と教訓を未来に伝え、防災・減災社会の実現のために必要な知識を学ぶ
3. 日時 平成28年10月29日(土) 7:00~20:00
4. 視察施設等
 - ・ 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
5. 参加者 市内企業メンバー22名
6. 視察行程

越前市	7:00発
神戸市 人と防災未来センター	10:30~12:30
昼食	12:45~13:50
越前市	18:00着
7. 視察内容
 - ① 阪神・淡路大震災記念、人と防災未来センター
阪神・淡路大震災の経験と教訓をわかりやすく展示しており、防災、減災について情報を発信している。特撮やCGを駆使して地震発生の瞬間を再現してある。
8. 所感
最近では日本のどこかで地震があり、自然災害も多くなっている。
日頃より、地震に対して認識し防災や減災などに取り組んでいかなくてはならないと認識されました。

2-1
2-2
2-3

様式第4号(第5関係)

活動結果報告書

29年01月14日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 霜 実男  印

下記のとおり報告します。

日 程 28年10月31日(水曜日)～11月01日(木曜日)

活動先 富士電機能力開発センター

活動目的 よくわかる市町村財政分析基礎講座 受講

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙)

研修 第一日目

決算カード総務省版及び平成26年度財政状況資料集、地方債残高の状況などの資料を持ち寄り越前市の財政の状況を把握し、実際の数字をはめて計算をし勉強をした。

第二日目

地方財政制度の基本との意見交換を行った。

所感 財政分析は大変難しい内容でした。

事前予習をしていきましたが、内容を理解するにはもっともっと勉強をしなくてはいけないと思いました。